

環境調査結果のお知らせ

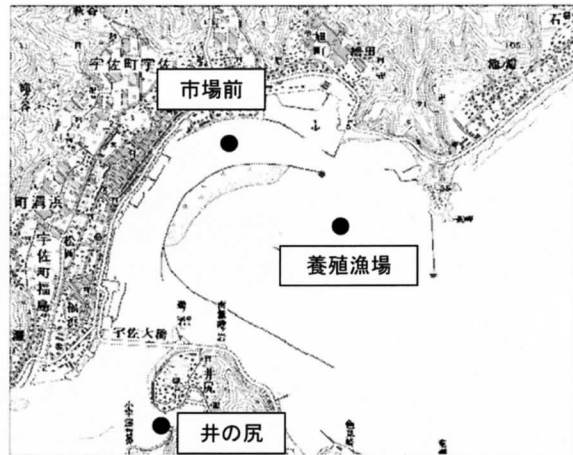
本日午前、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、有害種のプランクトンは確認されませんでした。

タカヤマ属は無害とされておりますが、高密度になると貧酸素の原因となります。酸欠の症状がみられた際は餌止めなどの対策を行ってください。
海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	タカヤマ属
市場前	0m	0	0	3,650
	2m	0	0	3,200
	5m	0	0	3,750
養殖漁場	0m	0	0	1,380
	2m	0	0	98
	5m	0	0	360
井の尻	0m	0	0	2,500
	2m	0	0	540
	5m	0	0	780
(参考)水試小割	0m	0	0	10,200
	2m	0	0	3,300
	5m	0	0	360



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ
数百～5,000cells/ml(魚類などのへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)